

数 理 学 の 世 界

市民講演会

広中平祐

『数学と世界』

日時: 2006年1月29日(日) 15:00-16:30 (開場: 14:30)
場所: 広島大学東広島キャンパス 学生会館 2階 シェパソンホール
アクセス: 自家用車可 (駐車場無料) 西条駅よりバス 15分程度 広大中央口 下車徒歩 3分
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

■ 講師紹介 広中平祐 (ひろなか へいすけ) 先生



数学者。文化勲章受章者(1975年)。日本で2人目のフィールズ賞受賞者(1970年)。京都大学数理解析研究所・ハーバード大学等日米の主要な研究機関で数学の研究活動を行う。山口大学の学長も歴任。また、研究のみならず数学教育に積極的に取り組み、次世代の若者達に対する数理科学の振興・啓蒙・教育にも尽力。現在は(財)数理科学振興会理事長。

■ フィールズ賞とは?

4年毎に開催される国際数学者会議において“顕著な業績をあげた40歳以下の若手数学者”に授与される数学界の最高の賞である。ノーベル賞に数学部門がないことからカナダの数学者J. C. フィールズの提唱により1936年に創設された。現在に至るまで45名が受賞。日本人数学者は3名が受賞。広中平祐先生の受賞理由は「代数多様体の特異点解消理論」である。

主催: 日本数学会中国・四国支部 広島大学理学部数学教室内 電話 082-424-7350

後援: 広島大学, 東広島市, 広島県教育委員会